新宮市津波浸水予測図（ハザードマップ）

『津波』は遠くの避難場所より近くの高台へ即避難することが大切です!!

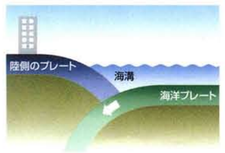
今後30年以内に50～60%の確率で発生すると予測されている『東南海・南海地震』は海溝型地震といい、海側のフィリピン海プレートが陸側のユーラシアプレートの下に毎年数センチずつ沈み込みを続けています。このプレートの境界に歪みが蓄積され、限界に達した時点で陸側のプレートが跳ね上がり地震が発生します。その際に海水が持ち上げられ、津波となって陸地に向かって押し寄せてきます。

この浸水予測図は、過去の歴史では3つの地震がほぼ同時期に発生していることから「東海・東南海・南海地震」が同時に発生した場合を想定（マグニチュード8.6・最大震度7）した当市の津波浸水予測図です。

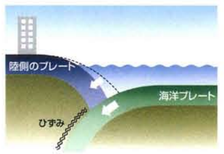
ただし、浸水予測図ですから、沿岸地域にいる時に地震に遭った場合は、即座に近くの高台や安全な場所まで避難することを忘れないでください。

※当市の地震（震度）予測　6強以上
沿岸到達予測津波高　5.2メートル
到達予測時間（第一波）　約12分

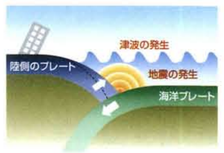
海溝型地震の発生メカニズム



海洋プレートが海溝やトラフの下に沈み込む。



陸側のプレートの先端部分が引きずり込まれ、歪みが蓄積する。



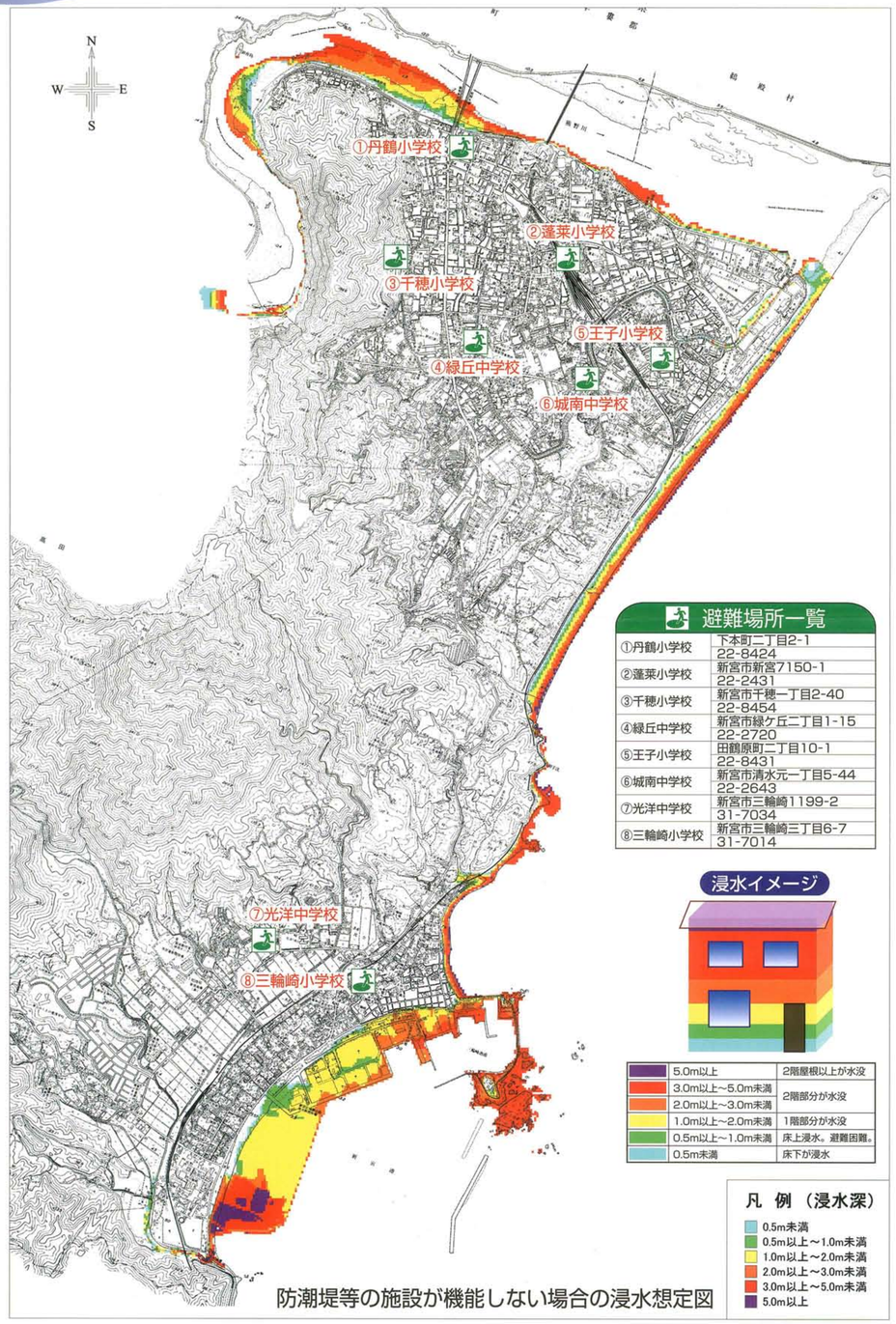
歪みが限界に達した時、陸側のプレートが跳ね上がり、地震、津波が発生する。

津波発生の仕組み

津波は、海底下で地震が起こり、海底の上下運動で海水が上下に動いて発生します。地震の規模が大きいほど津波も大きく、通常マグニチュード6.5以上で発生します。

震源と津波の波源の違い

地震の震源は、地震断層の破壊始点の位置を表しています。しかし津波の波源はすぐ近くにある場合があります。震源が離れていても予想以上に津波が速く到達することがあるので注意が必要です。

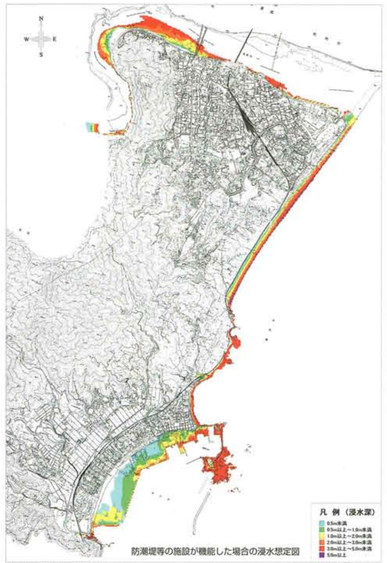


防潮堤等の施設が機能しない場合の浸水想定図

新宮市　1/1

避難場所一覧

①丹鶴小学校	下本町二丁目2-1 22-8424
②蓬莱小学校	新宮市新宮7150-1 22-2431
③千穂小学校	新宮市千穂一丁目2-40 22-8454
④緑丘中学校	新宮市緑ケ丘二丁目1-15 22-2720
⑤王子小学校	田鶴原町二丁目10-1 22-8431
⑥城南中学校	新宮市清水元一丁目5-44 22-2643
⑦光洋中学校	新宮市三輪崎1199-2 31-7034
⑧三輪崎小学校	新宮市三輪崎三丁目6-7 31-7014



新宮市（施設あり）　1/1

新宮市防災啓発イメージキャラクター

「しんちゃん」

災害用伝言ダイヤル

家族間の連絡や安否等の確認に役立ちます。

「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って伝言の録音・再生を行ってください。

● 利用できる電話

一般電話（プッシュ回線、ダイヤル回線とも）

公衆電話並びに、災害時、NTTが避難場所などに設置する特設公衆電話。

＊　携帯電話・PHSからも利用できます。（一部の事業者を除きます。H10.4現在）

● 提供開始

震度6弱以上の地震発生時、及び地震・噴火等の発生により、被災地へ向かう安否確認のための通話等が増加し、被災地へ向けての通話がつながりにくい状況（ふくそう）になった場合

＊　提供の開始、登録できる電話番号など運用方法・提供条件については、状況に応じてNTTが設定し、テレビ・ラジオ・インターネット等を通じて皆様にお知らせいたします。

津波は、ジェット機なみの速さ!

津波の速さは海が深いほど速く、ジェット機なみの速さ（時速約800km）で伝わってきます。海岸近くでも水深10mで時速約36kmの速さなので、津波が見えてから逃げては間に合いません。

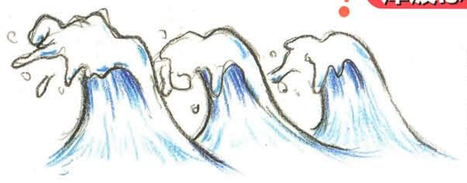
津波の高さは、想像以上に高い!

津波の高さは海岸の地形に大きく左右されますが、高さ1mの津波でも、海岸に到達するころにはその数倍から10倍程度の高さとなり大きな被害を起こします。

引き潮がなくても津波は、やって来る!

地震の起こり方や、震源地付近の地形によっては、津波の前の引き潮が起こらないこともあり、逃げ遅れてしまいます。

津波は、繰り返しやって来る!



津波は、1回限りでなく2回、3回と繰り返しやって来ます。警報、注意報解除まで気を緩めないで波が落ち着くまで注意し、海岸には近づかない。

緊急連絡先・お問い合わせ　■消防 21-0119　■警察 21-0110　■新宮市役所防災対策課 0735-23-3334（直通）　防災行政無線フリーダイヤル 0120-506043